

ふれあい

2021

10

No.415

牛久愛和総合病院 広報誌



新型コロナウイルスに対するワクチンについて

内科 医長 本多 伸一郎



数年前にこの頁でインフルエンザウイルスに対するワクチンを例に、ワクチンの仕組みについて概説しました（ワクチンの原理、2015年、2月号）。当時、新型コロナウイルスのような新しい病原体が私達の生活を一変させることなどは想像もしていませんでしたが、今回は新型コロナウイルスに対するワクチンについて概説したいと思います。

疫病から免れる防御機構「免疫」の最も重要な特徴の一つは、一度侵入した病原体を「記憶」することです。免疫記憶は、同じ病原体が再び侵入した際にとっさに作動して私達の体を守つ

てくれます。ワクチンの狙いは、病原体の一部や、毒性の弱い病原体を接種することによって、私達の体内に、その病原体に対する免疫記憶を事前に作っておき、同じような病原体の侵入に備えておくことです。

ファイザー社やモデルナ社の新型コロナウイルスワクチンにはmRNAワクチンという新しい方法が用いられました。

mRNAワクチンは私達の体内でウイルスの一部であるスパイク蛋白と同じようなものに変換され、これを目印とした免疫記憶が作られます。ワクチンによって作られた抗体が、その後体内に侵入してきた新型コロナウイルスのスパイク蛋白に結合してウイルスの増殖を抑えてくれると考えられています。mRNAワクチンの利点は、従来のワクチンのように病原体そのものではなく、遺伝子配列をもとに作製するため、非常に短期間で作製可能な点です。一方で、mRNAは非常に不安定で、保管・輸送を低温で行う必要があり、体内に長くとどまることができません。

その上、免疫から異物として排除されてしまうため、mRNAワクチンでは免疫から認識されないように一部を改造したmRNAが用いられています。このmRNAワクチンの実用化は、20年来、地道に行われてきた基礎研究の集大成なので

これまでスパイク蛋白に変異を持つコロナウイルス変異株がいろいろと見つかっていました。これはスパイク蛋白を標的とした免疫の攻撃から逃れやすい変異株が感染拡大しやすいことを示唆しており、我々の免疫記憶とウイルスがせめぎあいをしていることを反映していると考えられます。

科学雑誌は新型コロナウイルスの研究で占められ、人類は叡智を結集してこの新しい病原体に立ち向かっているものの、変異株の出現やブレイクスルー感染など戦いの終わりはまだ見えません。我々一人ひとりが感染を拡大させないようなところがけを続けて、感染の制御を心待ちにしたいと思います。

褥瘡対策委員会 You Tube



「床ずれチャンネル」 開設のご案内

みなさんこんにちは。褥瘡対策委員会です。当委員会では普段、入院中の褥瘡保有患者さんへの処置ケア方法の提供や褥瘡予防対策の勉強会を開催し、褥瘡発生予防に努めております。この度褥瘡対策委員会、「床ずれチャンネル」のYou Tube 配信を開始いたしましたのでご案内させていただきます。コロナが流行している現在、情報の入手方法が限られている状況があります。主にオンラインでの勉強会や、SNSで

の入手が多くなってきているのではないかと思います。しかし、本当に知りたき情報などについては質問ができません。悩んでいらつしやることも多いかと思っております。そこで、いつでもどこでも情報が入手できるYou Tubeを活用し、みなさんが普段のケアや処置で困っていることなどについて、具体的な解決策を動画で情報提供できればと考えております。このYou Tube動画は、みなさんからの質問に対して回答させていただきますので、自施設

での勉強会や利用者さんへの説明などにもご活用いただき、みなさんに安心してケアの提供をできるようにしていきたいと思っております。質問は病院ホームページより受け付けております。質問方法など詳細に関しては「#1床ずれチャンネル開設しました」の動画または概要欄でご確認いただければ幸いです。是非ご活用いただければと思っておりますのでよろしくお願いたします。

(褥瘡対策委員会)



入職者

9月16日付

■ 医材センター

事務 稲永 隆大

病院で働くことに責任を持ち、丁寧で的確な対応に努めてまいります。

■ スポーツリラックス

インストラクター 南 愛

体を動かすに、心を癒しに、リラックスへ来ませんか！笑顔でお待ちしています！

医事情報部

山口 いづみ

■ 医事情報部
事務 山口 いづみ
病院での勤務は初めてです。1日でも早く戦力として貢献できるように精進いたします。

事務 西塚 千恵美

誠意をもって患者さんに寄り添い、早く皆さんのお役に立てるよう努力して参ります。

事務 畑山 栄子

常に誠実な対応を心がけ、誰からも信頼して頂けるように努めて参ります。

DMカフエ



糖尿病・代謝内科 山口 純輝

季節の変わり目となり、体調の変化を感じる方も多い時期かと思われまふ。引き続き手洗いやマスク着用等の感染対策を行い、体調を崩さぬよう、お気を付けてください。今回は糖尿病と歯周病について

の話をさせていただきます。

糖尿病では、合併症として腎障害、網膜症、末梢神経障害などは周知されていると思いますが、歯周病はあまり注意喚起されてい

ないことが多いと思われまふ。あるに

報告では糖尿病で歯周病の発症リスクが増えることが確認されており、特にHbA1c 7%以上で進行する可能性が高くなるようです。また、歯周病の改善により血糖コントロールも改善する可能性も示唆されており、まさに糖尿病と歯周病の関係は双方向性にあることがわかってきています。

「糖尿病診療ガイドライン2019」では糖尿病と歯周病について、糖尿病患者は全員、歯周病治療を受けるべきであることが提唱されています。ぜひこの機会に、歯の健康を気にされてはいかがでしょうか。



9/30付退職
救急医療科
明比美典

おつかれさま

半年という短い期間でしたが、多くの患者さんや医療スタッフの方と接することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

春 秋 園 だ よ り



秋の味覚が美味しく、食が進む季節になりました。食事を食べる上で欠かせないのは、「口腔内の健康な状態」です。春秋園では、日々の食事の様子や歯磨き・口腔ケアの場面から利用者様の口腔内の健康状態を観察しています。

口腔内の観察ポイントとしては、磨き残しによる歯垢の付着、虫歯、歯のぐらつき等歯の状況です。入れ歯のある方は、汚れや破損等がないか確認します。

その際、「食事の後は、いつも歯磨きしています。」「ご飯を食べる上で、歯は大事だからね。」と話されるなど、利用者自身が口や歯の健康を意識してくれていると感じる場面が多くあります。また、「入れ歯が合わないから食べにくい。」「煎餅が好きだけど歯がなから食べられない。」と気になることや困っていることなど、相談を受けることもあります。

そして日々の観察に加え、口腔内の状況を動画で撮影し、牛久愛和総合病院の口腔外科の医師に見てもらうこともあります。医師よりその利用者様に応じた口腔ケアの方法や入れ歯の管理方法、助言・アドバイスを受けたり、医療的な処置が必要な場合は、受診できるように連携しています。口腔内の清潔と環境を整えることに努め、いつまでも安心・安全でおいしい食事を楽しめるように、お手伝いをさせていただきます。

（春秋園リハビリスタッフ一同）

部 署 紹 介

総務課

主任 宇梶 栄治

皆さんは「総務課」ときいてどんな仕事を思い浮かべるでしょうか。

「総」という字が表しているように、私たちは病院全体に広く関わる業務をしています。病院を円滑に機能させるための、『みんなが働きやすい職場環境を整える』ことが主な仕事です。

具体的には社会保険の加入や産休・育休などの申請、県や国、保健所等へ提出する書類の作成や入退職時の諸手続きに寮・社宅や公用車、電話の管理。さらには郵便物の仕分けといった日常業務、診療情報や掲示物、祭りなどの広報活動に加え患者さんの送迎や設備の保守修理も総務課の仕事です。

このように幅広く、全ての部署と関わりながら、病院を土台から支える縁の下の力持ちとして働いています。

常に病院全体を把握し、より良い環境を作っていく上で大変なことも多いですが、総務業務を通じて間接的にも患者さんの笑顔につながる事ができますよう、日々業務に励んでいます。



Dr 趣味リレー

神経内科 部長 中嶋 秀樹

なんといってもスポーツ。仕事とスポーツが両輪のように回っているとき、心身ともに安定しているような気がするの、私の勘違いでしょうか？昔から理系・スポーツ好きの家系で育ちました。巻き込まれた妻子は迷惑に思っているかもしれません（笑）。テニス、ジョギング、釣りなどは牛久で始め、長崎時代を通して今も変わらず。テニスは実は激しいスポーツであり、息が上がらずに楽しめるようジョギングを続けています。年1回はマラソン大会にも出るようにしています。年別では入賞歴多数あり！かつて妻の誕生日がマラソン大会当日であったため出場券をプレゼントしたら怒られました（笑顔で完走していましたが）。

さて神経内科医ですので、少し専門的なお話も。運動すると認知症発症のリスクが下がるとのこと。血流がよくなる、ストレス解消によるなど諸説あり。まずは皆さまも散歩・ゆつくりのジョギングからいかがでしょうか。牛久愛和総合病院ジョギング部兼テニス部新入部員より。

《出来事ピックアップ》

お月見集会

9/21

九月二十一日、お月見集会を行いました。年長児が「これは月見団子です。」などと、お供え物を紹介して、「月と雲」の詩を朗読しました。その後、保育士によるペープサートをみました。小さい子達も、指差したり、拍手をしたりしてよく見ていました。



次は団子作りです。年長児は自分で食べる団子を作り、他の子達は小麦粉を捏ねて遊びました。水を入れて混ぜていると、手にたくさん種が付

き、「わあ！ベタベタ〜。」などと喋っていました。やがて、延ばしたり丸めたり楽しんでいました。

おやつで、団子とお供えした果物を、皆で美味しく頂きました。（保育課係長 榊原）



編集だより

爽やかな風と秋晴れが気持ちのいい季節ですね。

さて、秋といえば「○○の秋」ですが、皆さんはどんな秋をお過ごしでしょうか？

これから冬に向かってどんどん肌寒くなっていきます。気温の変化に負けず、秋も楽しく満喫していきましょう。(Y・A)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
 整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
 小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
 皮 膚 科 (レーザー外来)
 外 科 (下肢静脈瘤外来)
 ストーマ外来
 そけいヘルニア専門外来
 透析外来
 内視鏡検査
 検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
 医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
 Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
 ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 人工透析センター
- 地域リハ・ステーション
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
- ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
- 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

